

年	組	名前
---	---	----

# 豊府小九州トップ

## 集めたベルマーク26万3866点 14年度

市販されているさまざまな商品についているベル（鈴）の形をした「ベルマーク」。大分市羽屋の豊府小学校PTA（松原弘之会長）の2014年度の集票点数が26万3866点と大分県1位、九州でも1位となり、全国でも30位に入った。関係者は「一人一人の心掛けてこれだけの点数を集めることができた」と喜んでいる。

ベルマークは1960年2009年から6年連続でスタートした。1点が11位の座を維持している。円になり、学校の設備や教材を買うことができる。2014年度は全国の幼稚園、小学校、中学校、高校、施設、今までにプロジェクトから2万6032団体、そや和太鼓、保健室の備品などのうち大分からは373団体さまざまなものをベルマークが参加した。ベルマーク1000円を目標としてきた。ただでなく、プリンターの使用済みインクカートリッジや牛乳の紙パックもベルマークの点数になる。

豊府小学校は1974年11月からベルマークを収集。毎月1回家庭から回収し、近隣のスーパーや金融機関にも収集箱を設置。また自治会に依頼して年に1回、回覧板に封筒を付けて児童のいない家庭にも協力を要請している。県内では話していた。

大分市の豊府小学校PTAの2014年度のベルマーク集票点数が大分県1位、九州でも1位になりました。

## 「地域の協力のおかげ」



6年連続で県内1位の座を維持。「今後は2千万点を目標」と意気込む豊府小学校PTAの施設ベルマーク委員ら（大分市羽屋）

(2015年6月16日夕刊11面)

①ベルマークは何年からスタートしましたか。

.....

.....

.....

②合計集票1千万点を達成している団体は、全国でいくつありますか。

.....

.....

.....

③集めるためにいろんな工夫をしていますが、ほかに考えつくアイデアはありますか。話し合ってみよう。

.....

.....

.....